

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和4年5月24日 ~ 令和5年3月15日
調査研究事項	夜間中学における教育活動充実に係る調査研究
調査研究のねらい	<ol style="list-style-type: none">1 外国籍生徒の学習活動に有効なICT等の教材・教具を活用した効果的な教育活動について研究する。2 SC等の外部人材等を活用した、より効果的な教育活動について研究する。3 日本語学級のない本校において、効果的な日本語指導を行い、各教科における授業力と教育相談の向上について研究する。
調査研究の成果	<p>上記のねらいを達成するため、本年度は教員研修と教育相談を柱に次のような取組を行い、実践に結びつけた。</p> <p>(1) 本年度の取組について</p> <ol style="list-style-type: none">① 学習活動に関する研修 9月。墨田区教育委員会情報担当 渡部昭 氏を招聘し、指導改善と学習改善が結びつく授業を念頭に置いた研修を行った。「諸外国におけるICT授業の工夫」「学習の質の上げ方」「ICTを活用した授業と評価」等について意見交換をした。② 教育相談 7月と11月の計4回、東京都のスクールカウンセラーである直塚有香 氏による1対1の全員生徒面接を行い、個々の生徒が抱えている人間関係や自分自身の能力に関する悩み、これまでの人生におけるトラウマ等の状態を理解し、生徒一人一人に寄り添いながら「学び直し」を支援する方策について意見交換した。③ 生徒全員面接後の適応指導研修 2月。東京都のスクールカウンセラーである直塚有香 氏による適応指導研修を行い、本校生徒の傾向と特性を踏まえながら、具体的な適応指導の在り方と関係機関との連携について理解を深めた。過去に、不登校や社会生活での不適応に陥った原因や悩みが、現在もなお解決されていない生徒を理解し、生徒一人一人に寄り添いながら「学び直し」を支援する方策について意見交換した。④ 日本語指導に関する研修

	<p>11月。一般財団法人OCNet代表理事 天明尚子 氏を招聘し、教科指導の基盤となる日本語の指導方法について、外国籍生徒にとっての「理解しやすい日本語表現」「日常的で端折った日本語表現」等、事例に基づく校内研修を行いながら指導方法の留意点について意見交換をした。</p> <p>⑤ 授業の実践</p> <p>研修や多様な授業実践を基に、「学習内容の組立て」「力を伸ばす評価方法」「教材の精選」等を念頭に置いた授業を実践した。</p> <p>(2) 改善充実の成果について</p> <p>多面的な研修により、教科指導や日本語指導に自信をもって指導できるようになり、効果的な学習指導や生活指導に結びつけることができた。その結果、生徒一人一人の課題を見つめながら、生徒への学習支援の充実を図ることができた。</p>
--	--